



# 暮らしの足（移動手段・交通） を考える集い

3月19日（水）午後6時30分～8時

参加費：無料（どなたでも参加いただけます）

場 所：芽室町中央公民館2階講堂

申込み：電話・メール（裏面）またはコチラ→



コーディネーター・講評

全世代型地域包括ケアシステムアドバイザー

少子高齢化がますます深刻化する中、様々な分野で担い手となる人材が減少し、暮らしへの影響が心配されます。

高齢者や子ども、病気や障がいの有無などに関わらず、誰もが住み慣れた地域で暮らしていくための必要な問題を、行政や地域住民、関係機関などあらゆる垣根を越えて検討しましょう。



北海道大学公共政策大学院  
教授 田中 謙一 氏

## 第1部

# 情報提供 (午後6時45分～7時15分)

①芽室町の「公共交通、移動手段」に係る課題

②先進地の取り組み

茨城県つくば市

静岡県富士市

千葉県船橋市

地域活動拠点

自動運転バス

地域循環バス

## 第2部

# 地域の取り組みと今後 (午後7時20分～8時)

高齢者を支える

### 芽室町地域包括支援センターあいあい

管理者 臼井 順子 氏

「高齢になっても住み慣れた地域で、自立した生活を送りたい。」「運転免許証を返納しても趣味活動や社会とつながりを持って生活したい」高齢者の願い、必要な支援を情報発信。

子育て・学びを支える

### 芽室町ファミリーサポートセンター事務局

サポートリーダー 北嶋 静香 氏

子育ての相互支援のしくみとして発足した育児サポートシステム。家庭の背景などから会員のニーズにも変化が。子育てや学びの選択肢を豊かにする取り組みを紹介。

障がい・病気があっても

### 芽室町社会福祉協議会訪問介護事業所

管理者 佐々木原 純恵 氏

治療や機能訓練等を継続して行うためには、病院や施設への移動手段が不可欠。ヘルパーが行う福祉有償運送サービスの利用ニーズが増える中、担い手の確保など課題を提言。

安心に寄り添う実践

### 特定非営利活動法人上美生

理事 蘆田 千秋 氏

路線バスが通らない農村地域(上美生地区)に住む高齢者の暮らしや高校生の登校を支援する地域の足とし開始された「KAMI便(カミビン)」の取り組みと利用状況や課題について発表。

主催：芽室町・芽室町教育委員会

後援：育児ネットめむろ・芽室町社会福祉協議会

芽室町地域包括支援センターあいあい

めむろ介護保険事業所等連絡協議会

【申込み・お問い合わせ】

芽室町役場高齢者支援課

電話：0155-62-9724

メール：h-zaitaku@memuro.net